

急に秋らしい気候になってきましたね🍁

そろそろトマトの収穫が始まってきた方も多いのではないのでしょうか。

今月は、『高精度トマト栽培』の試験をしているハウスのご紹介をします😊

通常の栽培より難易度は高めですが、栽培のプロを指して日々模索中です！

場所 ▶ 第8圃場



約1反ある、研究農場で  
最も広い施設です！

●高精度トマトの生産安定試験●

■目的

周年栽培の中で、糖度7度以上で反収18トン以上が達成できる管理を実証する。

■品種 麗旬×アーノルド

■定植 8/1

■昨年度の成績

収量=○.16.5トン(栽植密度2800株/反)

↓しかし、

糖度=△.糖度7を超えたのは2月以降となった。給液のしぼり始めが遅かったのが原因か。

尻腐れ=△.4月以降に一時、可販果率が80%ほどに。



果実は小さく、肩に緑が残る。  
葉色が濃く、茎も細い。

追加試験①窒素日施用管理で肥料代削

■目的

肥料の節約と終盤の糖度維持

■方法

時期ごとに計画した窒素量になるように液肥での給液回数を制限する。

それ以上の灌水が必要な場合は、高ECの塩化ナトリウム水溶液を灌水。



試験区



対照区

現在4段階開花。

まだ大きな差はありません。

追加試験②高精度ミニに適した品種はどれなのか！？

■目的

高精度栽培に適したミニトマトの品種を模索する

■方法

各社10品種を比較。収量、糖度、可販果率を調査していく。

■ラインナップ

小鈴クイーン、ラブリーさくら、TY千果、TYダルトリー、ランゼ、ほれまるなど。



ミニトマトは収穫が始まっています！ ぜひお越しください😊

詳細は各担当者までお問い合わせください。